

キラリ人

のざき みのる
野崎 稔 さん
(大窪5区・53歳)



▲詩だけでなく、幅広い分野で創作活動をされている野崎さん

このたび、滋賀県、(財)滋賀県文化振興事業団、滋賀文学会などが主催する第60回滋賀県文学祭・作詞部門において、文化芸術祭賞を受賞された野崎さん。日頃の創作活動や受賞されたお気持ちなどをお聞きしました。

滋賀県文学祭は、全国的にもまれな文学祭であり、小説や随筆、童話など10部門の作品が集まります。それぞれの部門で、文学祭の最高の賞である文化芸術祭賞の受賞者が選ばれます。

野崎さんが、今回受賞されたのは、作詞部門。「一歩ずつはたとえ小さくても、前に進んでいるだけでいいんだよ」というメッセージを込めた「歩幅」という詩が選ばれました。

詩は、曲にのせることを前提に「パズルのように組み合わせ

間の方が曲をつけて歌われているそうです。

野崎さんは、以前、町の青年団活動や子ども会活動にも関わられ、夏休みに子どもたちも参加し、今も続いている「アドベンチャーキャンプ」のテーマソングを作られたことがあったそうです。現在も「シュガーヒル」というバンドの一員で、町内外で幅広く音楽活動されています。また、演劇の脚本を書かれたり、随筆や童話、短歌を作られたりするなど、「小さなところから読書と音楽が好きだった」ことが、今のさまざまな活動につながっています。

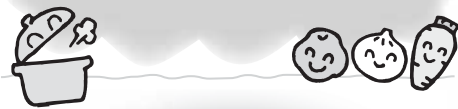
現在、野崎さんは、日野町文化振興事業団の事務局長を勤められ、文化振興事業に従事されています。「日頃は仕事に追われてしまうので、コンクールに出品することで、期限を決めて創作活動を行っています」。「コンクールに出品し批評を聞くことは、『なるほど』と勉強になります。他の人の作品を読むとおもしろくて、いろいろ発見することができます。今後は演歌の詩を書いてみたい」と、まだまだ新しい分野へのチャレンジは続けられます。

わたせていきます」と、韻を踏んだり、1番目と2番目の詩の字数をそろえたり、短歌や俳句のように決まりを守りながら作られます。「周りを少し違った視点から眺め、日常の出来事をひく Ramsey」と、創作活動のコツを教えてくださいました。

第53回の文学祭でも同じ賞を受賞された野崎さん。「明日 雨ならいいね」というデーと前日に、雨だからこそ楽しめるデーの様子を歌った作品で受賞されました。その詩は、現在、野崎さんの音楽仲

ヘルシークッキング

鶏肉の野菜おろしかけ



材料(4人分)

鶏もも肉2枚、酒大さじ1、塩小さじ1/2、こしょう少々、にんにく1片、玉ねぎ1/2個、ピーマン1個、油大さじ2、大根200g、人参40g、しょうが10g、ぼん酢大さじ2

作り方

- 1 鶏肉は皮面をフォークでつつき、酒、塩、こしょうを振りかけてしばらくおいておく。
- 2 にんにくはスライスする。
- 3 玉ねぎ、ピーマンは縦二つに切り、ピーマンは種をとって両方とも小口から1cm幅に切る。
- 4 フライパンに油大さじ1を入れ、玉ねぎ、ピーマンをしんなりするまで炒める。
- 5 同じフライパンに油大さじ1を入れ、にんにく、鶏肉の両面をこんがり焼く。
- 6 大根、人参、しょうがは全部すりおろし、ぼん酢と炒めた玉ねぎ、ピーマンを加え混ぜ合わす(大根のおろしの水分が多い場合はかるくしぼる)。
- 7 器に食べやすい大きさに切った鶏肉とにんにくを盛り、⑥の野菜おろしを上からかける。

☆1人分エネルギー 445kcal
たんぱく質 27.0g/脂質 32.3g
食塩相当量 1.2g



健康推進員
ふかいみづえ
深井美津江さん
(河原)

ポイント

野菜たっぷり、あっさり食べやすい料理です。鶏肉のかわりに、鮭、豚肉、なすなどを焼いてもおいしいです。